

8月の大雨による農地、農業用施設被災箇所数

	農地	農道	用排水路等	合計
合併前上越市	4	2	2	8
安塚区	25	9	3	37
浦川原区	43	9	11	63
大島区	21	4	4	29
牧区	17	3	0	20
柿崎区	3	0	2	5
頸城区	4	2	2	8
吉川区	7	4	3	14
中郷区	3	0	0	3
板倉区	5	1	0	6
清里区	9	0	0	9
三和区	7	2	7	16
名立区	6	0	1	7
合計	154	36	35	225

はざ間にある生活保護世帯への支援、研究へ エアコン設置で市長が約束



9月21日の一般質問で上野公悦市議は、生活保護世帯のエアコン設置をとりあげ、「いまやエアコンは最低限度の生活をしていくために、そして何よりも異常な暑さの中で、熱中症から命を守るうえで必需品だ。全ての生活保護利用者の命を守るために、エアコン設置費用を認めるよう国に求めると同時に、市独自の事業としても早急に行うべきだ」と訴えま

した。

答弁に立った村山市長は、国の「生活保護法による保護の実施要領」の改正を受けて、本市では、本年4月から8月末までの間で新たに生活保護となった44世帯のうち、エアコン未設置の13世帯に対して、設置に向けた勧奨を行い、3世帯が設置されたこと、「制度のはざ間にある、従来からの生活保護世帯を対象に、エアコン設置の実態について調査を行った結果、施設入所等を除く768世帯のうち、592世帯、77%の世帯でエアコンが設置されており、残る176世帯では未設置である」となっていることを明らかにしました。

そして市長は、「市長会等を通じて、国に対し、生活保護の新規認定か否かにかかわらず、必要とする世帯に対してエアコンの設置費用を支給できるよう要望を行っていくとともに、制度のはざ間にある生活保護世帯に対する支援の在り方について、研究を進めてまいりたい」と答えました。

生活保護世帯の人たちの命を守るために、ぜひ実行してほしいものです。

大雨で畔がぬげ落ちた水田
(吉川区石谷地内)



災害復旧は 農家に寄り添って

橋本正幸議員は25日の一般質問で豪雨による田んぼや農道などの災害復旧をとりあげました。

同議員は、桑取地域の災害状況を紹介しながら、「豪雨などにより中山間地などで被害が発生している。将来に向けて営農を継続していけるように」と支援を訴えました。

これに対して村山市長は、「8月の豪雨により、農地、農業用施設で246件の被害が発生した。既に緊急の対応が必要な一部の農道等については予備費を充用して復旧を行っている。それ以外も予算をつけて速やかに支援していく」と答えました。

桑取地区の災害復旧に関しては近藤農林水産部長が、「国の査定を受けて対応する。被害の規模によって判断されるが、市としては、どんな対応であれ、対応できるものは対応していく」と答えました。

来春の耕作に間に合うようにぜひとも速やかな対応をしてほしいものです。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.605 2018年9月30日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)